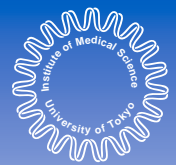


医科研病院だより



第24号

発行：東京大学医科学研究所附属病院
平成26年7月15日
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
代表電話03-3443-8111
ホームページ <http://www.transrec.jp/>

CONTENTS

病院長就任にあたって	1
すこやか・カフェ	2
栄養サブリ	3
なんでも・ひろば	4

病院長就任にあたって

病院長 小澤 敬也

本年4月に、東京大学医科学研究所附属病院（IMSUT Hospital）に病院長として赴任致しました。私は米国NIH留学後、7年間、高久先生と浅野先生のもとで東大医科研に勤務しておりましたが、その後、自治医大に異動し、20年振りに、思いがけず医科研に舞い戻ることになりました。自治医大では、血液内科学と遺伝子治療・細胞治療に取り組んでいましたが、世界的に低迷していた遺伝子治療は欧米では漸く復活の機運にあります。丁度良いタイミングで、東大医科研病院を拠点として遺伝子治療の臨床展開を図ることができるのではないかと期待しております。一般に、大学医学部附属病院は、全ての診療科を擁し、総合病院として運営されていますが、東大医科研病院は小規模のプロジェクト病院として活動しています。即ち、それぞれの時代の要請に応じたテーマに取り組み、新しい医療の開発を目指した臨床研究や臨床試験に力を入れています。そこで、新しいプロジェクトを推進するため、遺伝子・細胞治療センター（CGCT：Center for Gene & Cell Therapy）を新規に立ち上げ、難治性のがんや慢性疾患に対する先端治療の開発に取り組むと考えております。

東大医科研は、1892年に北里柴三郎博士によって伝染病研究所として創設され、当初は感染症の克服が主要なテーマでしたが、1967年に感染症・がんなどの難治性疾患(ノ)

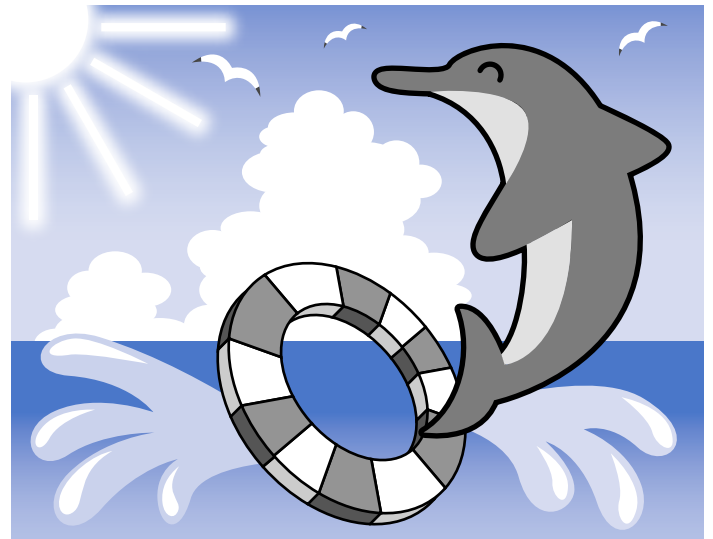
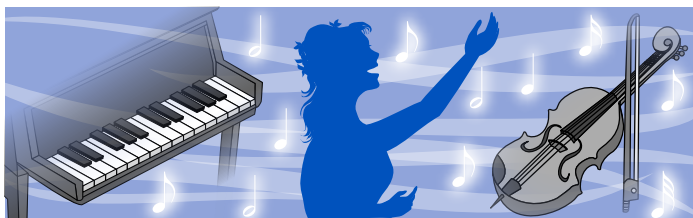


(ノ)の解明と克服をテーマに改組されたという長い歴史を持っています。附属病院は研究所創設時より設置され、それぞれの時代に必要なプロジェクトに精力的に取り組んできています。病院スタッフ一同が力を合わせ、先人に負けないように、医療の発展に大きく貢献していきたいと考えています。プロジェクト病院の運営（経営）は大変ではありますが、御支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

トピックス

◆5月23日に、病院棟8階トミーホールにおいて、“La Gemma”の皆さんのご好意により、病院コンサート～Early Summer Concert 初夏の夕べに～が開催されました。

いつかどこかで聴いたことのある日本歌曲の名曲たちを、美しいピアノとヴァイオリンにのせて、ソプラノ歌手の方があたたかく歌い上げるとともに、素敵な詩の朗読などもご披露くださいました。



すこやか・カフェ



関節外科のご紹介

関節外科 竹谷 英之

2006年に医師1名、理学療法士1名で始まった関節外科が、医師2名、理学療法士3名と昨年4月大きく飛躍しました。それに伴い、細々と患者さんを限って続けていたリハビリ診療を拡充しました。その様子をご紹介します。



関節外科メンバー

病院リハビリ治療の重要な目的のひとつとして、入院患者の早期離床・早期退院のサポートがあります。そのため入院治療のために安静を強いられ、運動機能が低下したすべての患者さんが、本来リハビリ治療の対象と考えられる患者さんです。特に当院は、以前から特徴である骨髄移植や感染症を中心とした入院患者に加え、脳外科・緩和医療科の入院患者も加わり、大多数の医科研入院患者がリハビリ治療の対象でした。

しかし、関節外科では2006年開設以降、HIV感染症と骨髄移植後の筋骨格系の障害を持つ入院患者さんの一部と、血友病性関節症の関節手術後の入院・外来患者さんに限って診療していました。当然、多くの診療科からの「せめて入院だけでも多くの患者さんにリハビリ治療ができないか」という希望が以前からありました。これを追い風に、昨年4月にやっと診療スタッフの増加となりました。

そこでこの期待に応えるべく、リハビリ希望する入院患者さんについては、基本的にすべてリハビリ治療を受け入れることを目標に掲げて診療を昨年4月から開始しました。3名の理学療法士が、それぞれ大まかな担当診療科を担当し治療を行うことで、診療科医師や病棟看護師との円滑な意思疎通が得られ、大きなトラブルなくリハビリ治療効果を挙げています。その結果、一日新規リハビリ依頼は10名近くになることもあり、そして一日のリハビリ実施患者数は40名以上になるようになりました。これは医科研入(ノ)

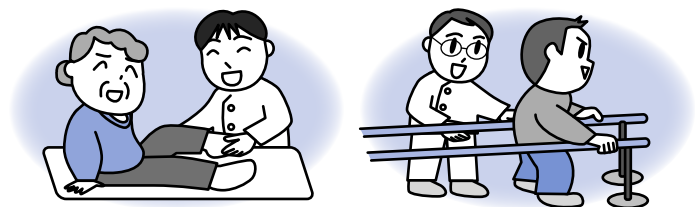
(ノ)院患者の半数以上がリハビリを行っていることになり、リハビリ治療の重要な目的のひとつを実現しつつあります。これらはひとえに皆さんのご協力とご理解のおかげと思っています。



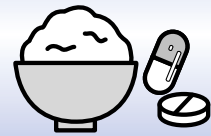
関節外科のようす

当院には遠方から専門的治療を期待されて、通院、入院される患者さんが多いため、今後の問題は外来リハビリ治療の拡充と思っています。そのために解決しないといけない問題が山積していますが、少しずつ解決していきたいと思っています。

これからも適切で効果的なリハビリ治療を皆さんに提供できるように、体制を整えていきたいと思っています。



栄養サプリ



糖尿病と言われたあなたへのアドバイス

GOODですね！

栄養管理室

できる事から
始めよう！

めざせ☆よい血糖コントロール

医師



1に食事、2に運動！
3、4がなくて、5に薬！

早めの薬が要ることも！
まずは何でもご相談！

糖尿病は増えたけど
治療のほうも日進月歩！

1日の適量を3回
均等に食べましょう

管理栄養士

あなたに合った
エネルギー量を知りましょう
1200kcal/?
1400kcal/?



野菜類をしっかり
とりましょう



ゆっくりよくかんで
食べましょう

お菓子、お酒はひかえめに...

よし！やってみよう！

看護師



全身チェック！
少しの傷も大敵です



体調管理を
心がけて

禁煙しましょう

理学療法士



今より10分多く歩く！
やってみませんか？

薬剤師

薬の名前を
覚えましょう



薬の飲み忘れ
注意！

歯科衛生士



食後の歯磨きを
忘れずに！

もっと詳しく
知りたい方には...

毎月第4火曜に糖尿病教室を開催しています。いつからでもどなたでも、ご参加いただけるようわかりやすい内容になっています。事前申込は不要ですので、お気軽にお越し下さい。糖尿病教室メンバーがあなたをサポートします。心よりお待ちしております！

糖尿病教室のご案内



がっちり！

サポート！

☆ 開催内容は院内掲示またはホームページをご覧ください。

☆ お困りの方は近くのスタッフにおたずねください。

☆ お問い合わせ先！

・栄養管理室 03-5449-5227

・代表 03-3443-8111



病院長を退任して：橋渡し研究と今後への期待

医科研・医療イノベーション推進室 今井 浩三

今回、長村文孝教授から、病院長退任の挨拶を書くように、とお誘いをいただきましたので、お言葉に甘えまして、心からのお礼と今後への期待を書かせていただきます。

北里柴三郎先生により医科研が開設されてから、約120年になろうとしていた2010年に、私は、当時所長の清水元治先生と中村祐輔先生（現シカゴ大学医学部教授）のお誘いをいただき、医科研病院・病院長に赴任させていただきました。前任は、札幌医科大学の理事長・学長で、ちょうどその年の3月に任期満了でしたので、大変嬉しく、誇らしく感じて赴任いたしました。

医科研病院は、橋渡し研究に携わる意欲に満ちた方々が多く、まさに橋渡し研究（TR）病院としてふさわしいものでした。また、医師・看護師・薬剤師等の多職種連携も見事でした。在任期間中に、多くの橋渡し研究が臨床を目指し実施されています。臨床研究数件に加え、医師主導治験も2件が開始されました。最近では、他大学や関東圏の病院からもTRシーズの申し込みが数多くあり、現在は、歴代研究所長・病院長のお力も借り、医科研病院を橋渡し病院の特区として承認いただきたく国へ申請中です。

さらに、今後は、国（JST）に応募し、採択されたCenter of Innovation（COI、革新的イノベーション創出プログラム）事業の課題である「ヘルスビッグデータ（♯

（♯）を用いた健康長寿イノベーション」への協力も含めて、病院の立ち位置を明確にしつつ、変化し続ける医科研病院であることを衷心より期待しております。病院長2期4年の間、大変お世話になりました皆様様に、心から感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。



◆病院からのお知らせ◆

●臨床検体の取扱いにつきまして

当院での保存・追加採取検体を用いた臨床研究名をお知りになりたい方は

http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/ore/IMSUT_ORE_7.html をご覧ください。

東京大学医科学研究所附属病院・ご利用案内

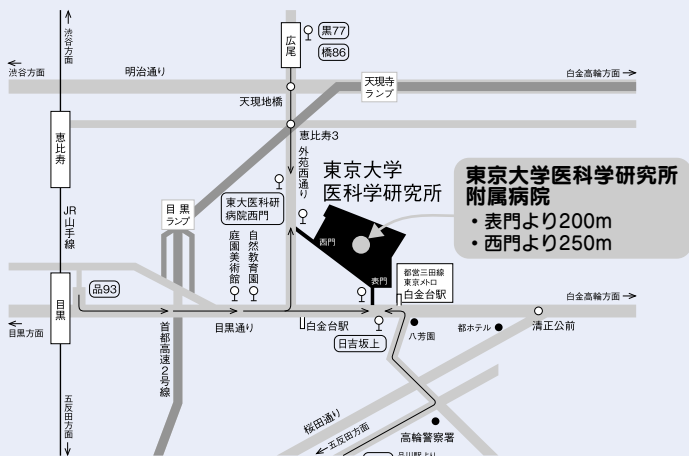
診療科

内科（総合、血液腫瘍、感染症、アレルギー・免疫、代謝・内分泌、循環器、消化器）

小児科（小児細胞移植）

外科（一般、腫瘍、消化器、乳腺）、整形外科（関節）

脳腫瘍外科、放射線科、麻酔科、遺伝相談



外来診療日

月曜日～金曜日（祝日および年末年始を除く）

診療受付時間

8：30～11：30（初診・再診）

12：30～16：00（再診のみ）

※予約時間の15分前までに受付にお越しください。

（確実にご受診いただくために、ぜひ予約をお取りください）

予約専用電話（予約受付および変更）

診察：03-5449-5560

検査：03-5449-5355

受付時間 8：30～17：00（外来診療日のみ）

アクセス

- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線で「白金台駅」下車
 - JR山手線目黒駅東口から都バス品93大井町競馬場行で「白金台駅」下車、あるいは都バス黒77千駄ヶ谷行か橋86新橋駅行で「東大医科研西門」下車、または駅より歩いて約15分、タクシーで約5分（1メーター）
 - JR品川駅から都バス品93目黒駅行で「白金台駅」下車
 - 東京メトロ日比谷線広尾駅から都バス広尾橋から黒77または橋86目黒駅行で「東大医科研病院西門」下車
- ※患者専用駐車スペースも数台分ございます。ご利用は受付にお申し出ください。